

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	1 単位・30時間	開講時期	2年・前期
授業科目名	小児看護学 I (小児看護技術)			授業形態	講義
担当教員	金子 綾子		実務経験	○(看護師)	
授業概要	人間のライフサイクルの中で、小児期は最も成長・発達の著しい時期であり、健康障害や苦痛を最小限にすることは、健やかな成長・発達への支援として重要である。また、健康障害を持ちながら成長・発達する子どもを理解し、養育環境をより安定したものとなるための知識を深めることが必要である。健康障害や入院が子どもや家族に及ぼす影響やそれぞれの状況(経過・検査・治療・処置)にある子どもと家族への看護について学習する。				
学習目的	子どもの特徴的な疾病の経過と看護について学ぶ。また、障害のある子どもの特徴と家族への看護について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期における疾病の経過と特徴を理解する。 2. 子どもの状況に応じたアセスメントについて理解する。 3. 子どもの健康障害に応じた援助方法を理解する。 4. 子どもの疾患や発達段階に応じたプレパレーションを理解する。 5. 入院や検査・治療・処置が子どもおよび家族に及ぼす影響を理解する。 6. 子どもの虐待と看護について理解する。 7. 小児期における看護過程の展開を理解する。 				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2 病気・障害をもつ子どもと家族の看護(病気・障害が子どもと家族に与える影響・子どもの健康問題と看護) 3. 4 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護(入院中の子どもと家族の看護) 5. 6 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護(外来におけるの子どもと家族の看護・在宅療養中の子どもと家族の看護・災害時の子どもと家族の看護) 7. 8 子どもにおける疾病の経過と看護(慢性期にある子どもと家族の看護) 9.10 子どもにおける疾病の経過と看護(急性期にある子どもと家族の看護) 11.12 子どもにおける疾病の経過と看護(周術期にある子どもと家族の看護) 13.14 子どもにおける疾病の経過と看護(終末期にある子どもと家族の看護) 15.16 子どもの身体的アセスメント 17.18 症状を示す子どもの看護 19.20 子どものアセスメントに必要な技術(コミュニケーション・バイタルサイン・身体測定) 21.22 検査・治療・処置を受ける子どもの看護(子どもにとっての検査・治療・処置薬物動態と薬用量の決定) 23.24 検査・治療・処置(与薬・輸液管理・抑制・検体採取・救命処置) 25.26 検査・治療・処置(電法・清潔・経管栄養・排泄・呼吸症状の緩和) 27.28 障害のある子どもと家族の看護(障害のとらえ方・障害のある子どもと家族の特徴・障害のある子どもと家族への社会的支援) 子どもの虐待と看護 29.30 小児期を対象とする事例における看護過程の展開(ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程) <p>終講試験</p>				
評価方法	筆記試験(100%)				
教科書	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論 第15版第1刷 医学書院 2025				
参考図書等	看護学テキストNiCE 小児看護技術(改訂第3版) 子どもと家族の力を引きだす技 南江堂				
備考					